

現代社会を見つめて6

情報サービス課 石美 真也

『はじめての経済学』 酒井泰弘 著 (有斐閣) xiv, 215p.

経済学を複雑で難しいと考えている人は多いと思います。確かに普段あまり使うことのない専門用語や理論が出てくることがあり、理解に苦しむことも多いかもしれません。しかし、経済学は日々の生活に大変関係の深い学問です。理解できれば、日常で役立てることができるものもあるのではないのでしょうか。

本書では、経済学についての解説が、「易しく、面白く、」ということに留意してなされています。取り扱うテーマを絞り込み、解説に直接的には経済学の話題ではない、日常生活や小説などの中からの話題を多く使っています。難しい理論が、私達が親しみやすい話題を例にして解説されており、簡単に理解ができます。日常の様々な場面に隠れている経済学を考えてみましょう。

331-Sak

『図解仕事に使える経済学』 戸崎肇 著 (PHP研究所) 140p.

近年、日本経済は一部には回復の兆しがあると言われていますが、長期にわたる大不況は日本経済に大きな影を落としています。そのため、大企業の合併や会社のシステムの変化など、私たちを取り巻く環境は激しく変化しており、未だに厳しい状況も存在しています。しかし、変化にうまく対応していけば、成功するチャンスも多くあるのではないのでしょうか。そのためには、現在の日本の状況をよく知る必要があります。

本書では、日本経済の歴史や現状が、図やグラフを多く使って解説されており、よく耳にする基本的な用語の説明もされています。「平成大不況」の原因や日本経済の問題点がよくわかります。経済に関する新聞記事やニュースを理解し、世界情勢を知ることに大変役立つ書物だと思います。

332.107-Toz

『経済の地図帳』 NHKスペシャル「データマップ63億人の地図」プロジェクト 編 (アスコム) 143p.

国や地域により、経済に関する状況はそれぞれ異なります。また、経済に影響を及ぼすものは、その国や地域の政策だけでなく、人口や自然など様々なものが影響します。経済に関するデータは多く存在しますが、世界的な視点で考えることはとても重要です。

本書では、失業者数や出生率、環境破壊など、経済に関係の深い事柄が、世界や日本の地図と数値データを使って解説されています。地図により、数値だけでみるより、国や地域の現状や格差など、世界を取り巻く情勢がよくわかります。現地の人々のレポートも紹介されており、その国や地域の人々の声も知ることができます。世界の経済を視覚的に見てみると、今まで気づかなかった事に気づくことがあるかもしれません。

332.9-Keiz



いしみ しんや (司書)